

平成21年12月22日

ニュースリリース

社団法人 日本物流団体連合会

物流業における新型インフルエンザ対策ガイドライン

「最終マニュアル」を発表

日本物流団体連合会では、平成21年8月下旬に発表しました、物流業における新型インフルエンザ対策ガイドライン「準備マニュアル」に引き続き、従来より発生が危惧されている、鳥由来のH5N1型強毒性新型インフルエンザについての対策を整理し「最終マニュアル」として発表しました。

鳥由来のH5N1型強毒性新型インフルエンザ対策については、政府も以前より検討を重ねており、「新型インフルエンザ対策ガイドライン」(新型インフルエンザ及び鳥インフルエンザに関する関係省庁対策会議、平成21年2月17日)のなかで、「事業者・職場における新型インフルエンザ対策ガイドライン」としてまとめられています。ただし、個々の事業者の対策に関しては、当然ながら、業態や規模によって異なってくるものと考えられます。

そこで物流連では、この「最終マニュアル」において、物流業の業態にとらわれず共通して活用ができ、かつ明解な内容を目指しマニュアルの作成をいたしました。また、物流事業者の中で多数を占めると言われる中小規模の事業者に焦点を当て、事業の存続に向けての対策と社会機能維持者としての対策の両面において、BCP(Business Continuity Plan=事業継続計画)を策定する際の「手順・項目・ポイント」を整理しています。**なお、当マニュアルは物流連のホームページより、無料でダウンロードいただけます。**

鳥由来のH5N1型強毒性新型インフルエンザにより予想される社会的混乱に対して、物流事業者の事業が維持、継続され、ライフラインを支える物流業界全体としても、その社会的要請に応えられるよう、先の「準備マニュアル」と共にご活用願いたく思います。

以上

(連絡先) TEL : 03-3593-0139

担当： 浜野